



最重要プロジェクト 人口減少対策

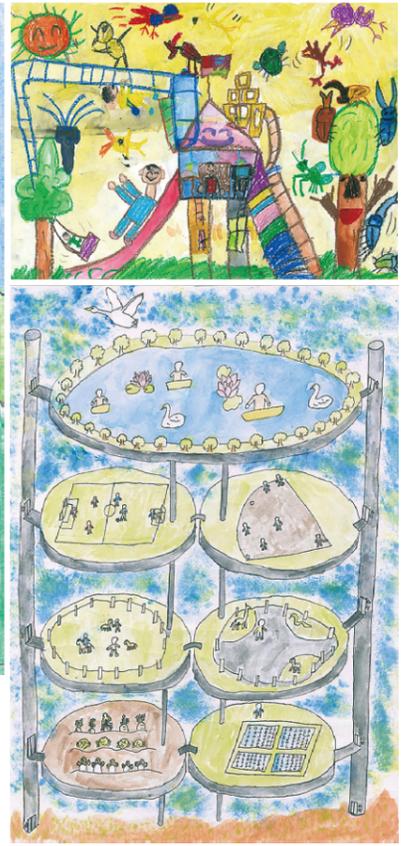
2つの視点で施策を展開

全国的な問題となっている人口減少を背景として、本市でも少子化などによる人口減少が続いています。人口減少が進行すると、雇用の機会減少や経済・産業の縮小と相まって地域の活力が低下する恐れもあります。人口減少対策は、本市における最重要課題です。

このことから、「人口減少対策」を本計画の「最重要プロジェクト」として位置づけ、各分野の施策を展開・連携させながら、その対策に取り組んでいきます。

人口減少が急速に進展すると、市政運営への影響も大きくなり、全ての課題への対応が難しくなることが想定されます。人口減少の影響を最小限に食い止めるため、人口減少の進行を緩やかにする取り組みが必要です。

併せて、人口減少社会にあっても、市民一人一人が暮らしやすさを実感し、地域の活力を維持していく取り組みが求められます。本計画では、「やすらぐまち」にぎわうまち」「つながるまち」の3つのまちづくりの基本政策のもと、次の2つの視点から人口減少対策に横断的に取り組みます。



思いと願いを推進力に変えて——



▼減少を緩やかにするデザイン

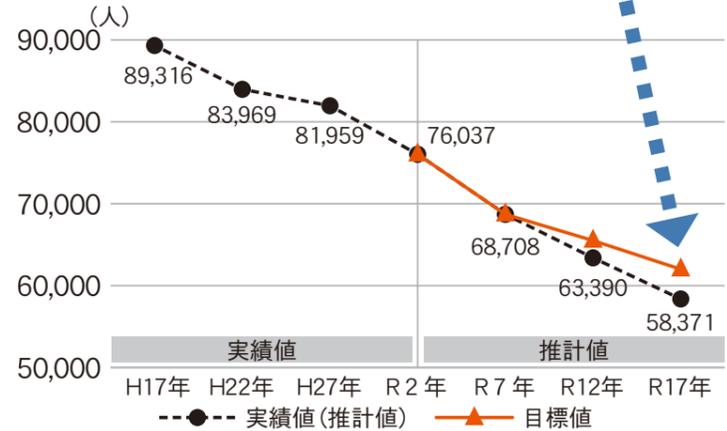
本市の人口減少は、少子高齢化により死亡者が出生者を上回る自然減少と年齢階層別人口の推計において、特に15歳から24歳の年齢階層で転出者が転入者を上回る社会減少が主な原因です。

このため、人口動態における出生数の増加と健康寿命の延伸による「自然減少の抑制」、社会動態における転入者の増加と転出者の抑制による「社会減少の抑制」が求められます。人口減少の幅を緩やかにするため、「結婚から出産、子育てまで切れ目のない支援をはじめとする自然減少の抑制」「移住定住の促進と雇用の確保をはじめとする社会減少の抑制」に取り組んでいきます。

▼暮らしやすいまちをデザイン

今後、本市は、人口減少の幅を緩やかにする取り組みを進めますが、劇的な人口の増加は見込めない状況にあります。
本市には、豊かな自然や美しい田園風景、先人から引き継がれている歴史や文化など、都会にはない魅力がたくさんあります。
こうした本市の魅力を守りつ

将来の人口目標 61,000人



つ、生活環境の向上やまちのにぎわいの創出、さらにはデジタル技術の活用など、新たな展開を取り入れていくことが効果的だと考えられます。誰もが暮らしやすく、幸せを感じられ、住み続けたいと思えるまちづくりを進めるため、「住環境の向上」「シニアプロモーションや交流の促進などによる、まちの活気の創出」「デジタルを活用した利便性の向上」に取り組んでいきます。

平成17～令和2年は国勢調査による数値で、令和7～17年は推計値を記載
資料：令和2年の国勢調査に基づく国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年12月)」

一人一人の思いと共に 幸せを紡ぐ新たな10年へ

この絵は、「10年後の登米市のまち絵画コンクール」の入賞作品です。これらの作品には、小中学生の未来への夢と希望、そして多くの願いが込められています。

幸せは人によって十人十色かもしれないませんが、豊かに生活したいという願いは同じはず。私たちが幸せに暮らすことができ、子どもたちが夢や希望を実現できるまちにするために、自分にできることを考えてみてください。

各施策を進めるのは行政の役割ですが、目標の達成に不可欠なのは、ほかの誰でもない私たち一人一人の「行動」と「協働」です。心の中に、登米市を「幸せで豊かに暮らせるまちにしたい」という思いと願いがあれば、それが推進力となり、きっとこの計画が羅針盤となって明るい未来へ導いてくれるはずです。未来への地図を描き、今こそ新たな一歩を踏み出しましょう。幸せを紡ぐ10年の旅路へ——。